

経済諸会議の動向（3）

田中 修

はじめに

本稿では、1月7-8日に開催された人民銀行工作会議の概要を紹介する。

1. 第12次5ヵ年計画期間の成果¹

2015年は、第12次5ヵ年計画の手仕舞いの年であった。第12次5ヵ年計画期間は、わが国の金融政策にとって非凡な5年であり、豊かな成果を得た。過去1年、錯綜し複雑な国内外経済金融環境に対して、党中央・国务院の正確な指導の下、人民銀行は安定の中で前進を求めるといふ政策の総基調を堅持し、引き続きマクロ・コントロールを強化し、金融改革を全面的に深化させ、金融リスクを確実に防止し、経済の質・効率の向上とグレードアップ・発展を促進した。

（1）金融改革の全面深化で重大なブレイクスルーを得た

人民元がIMFのSDRバスケットに加入し、人民元が国際準備通貨になることを推進する重大な歩みを踏み出した。

金融機関の預金金利の変動上限を全面的に開放し、金利市場化改革はカギとなる進展を得た。

人民元レート形成メカニズムを更に整備し、為替レート形成における市場の決定的役割が更に増強された。

預金保険制度を正式に実施し、わが国の金融セーフティネットが更に整備された。

金融機関改革を早急に推進し、開発性金融機関の改革が順調に実施された。

シルクロード基金の運営が、良好なスタートを得た。

インターネット金融への監督管理原則と分業を明確化し、インターネット金融の健全な発展を促進した。

上海自由貿易区等の地域金融改革を深く推進し、コピー・普及可能な経験を形成した。

（2）マクロ・コントロールの的確性・有効性を更に増強した

多様な手段を総合的に運用して、流動性を合理的に調節した。

金融機関の預金準備率を全面的に4回引き下げ、5回方向を定めて預金準備率を引き下げ、長期の流動性を適切に提供した。

常備貸借ファシリティーを全面的に普及させ、地方法人金融機関の流動性管理を強化した。

短期市場金利の安定を更に重視し、短期金融市場の平穏な運営を維持した。

預金・貸出基準金利を5回引き下げ、金利のレバレッジを十分運用して資金調達コスト

¹ 主要なものだけを紹介する。

の低下を誘導した。

預金準備金の平均法による考査を実施した。差別化した準備金の動的調整メカニズムのアンチシクリカルな調節と構造誘導作用を引き続き発揮させ、金融機関がより多くの貸出資を経済社会発展の重点分野・カギとなる部分に配分するよう誘導した。

(3) 安定成長・構造調整・民生優遇に対する金融支援を強化した

貸出政策の誘導作用を発揮させ、経済構造調整を促進し、金融機関が生産能力の深刻な過剰という矛盾を解消することへの金融サービスをしっかり行うよう誘導した。

戦略的新興産業・環境保護・養老・医療・国内物流等の分野への支援を強化した。

地方政府債務の管理、北京・天津・河北協同発展への金融付帯サービスをしっかり行った。

貸出資産の証券化を更に推進した。

農村の請負権・経営権を担保とする貸出テストを穏当に推進した。

「三農」と小型・零細企業に係る貸出政策の誘導効果の評価を、引き続き展開した。

大衆による起業・万人によるイノベーションを支援し、国家の学業助成貸出政策を整備し、金融による精確な貧困扶助を強化した。

(4) 国際・地域金融におけるわが国の影響力が全面的に拡大した

IMF の 2010 年シェア・ガバナンス改革を推進し、ブレークスルーを得た。

2010 年ブリスベン G20 サミットでの習近平主席の承諾を実施し、IMF データ公布特殊基準 (SDDS) を正式に採用した。

2016 年 G20 の主催国をわが国が引き受けたことに関連する準備活動を積極的に展開し、第 1 回財政・金融 G20D 会合を主催した。

BRICS 各国が中央銀行間協議を締結することを推進し、緊急に準備・手配した。

「シルクロード経済ベルト・21 世紀海のシルクロード」戦略に協力し、欧州復興開発銀行に成功裏に加盟し、「中国・ラテンアメリカ」「中国・アフリカ」等の生産能力協力基金を設立した。

兩岸 4 地区での金融協力を着実に推進した。

(5) 人民元の国際化と資本項目の兌換化を引き続き推進した

人民元のクロスボーダー使用の政策枠組みを整備した。

中央銀行間の通貨・金融協力を推進し、33 の国外中央銀行あるいは通貨当局と通貨スワップ協定を締結した。

世界 20 か国 (地域) で、人民元による清算の仕組みを確立した。

個人と金融市場の人民元兌換の程度を引き上げ、人民元適格国内投資家 (RQDII) 制度を着実に推進し、国内と香港の基金相互認証を実現し、インターバンク債券市場・外為市場への国外中央銀行 (及びそれに類した機関) の参入を推進した。

「人民元国際化報告」を初めて発布した。

2. 2016年の金融政策の基本的考え方

現在、わが国の経済・金融の運営は総体として平穏であり、安定の中で前進し、安定の中で良好となっている。とりわけ経済構造が不断に最適化され、サービス業・消費の伸びが加速しており、経済成長を支える主要なパワーとなっている。

しかし、国際・国内経済金融情勢は依然として複雑・峻厳であり、マクロ・コントロールと金融の改革・発展・安定の政策任務は依然として繁雑で荷が重い。

2016年は、第13次5ヵ年計画スタートの年であり、人民銀行系統組織は18回党大会・18期3中全会・4中全会・5中全会と中央経済工作会議精神を全面的に貫徹実施し、鄧小平理論・「3つの代表」重要思想・科学的発展観を導きとして、イノベーション・協調・グリーン・開放・共に享受という発展理念を牢固に樹立して貫徹実施し、経済発展の新常態に適応し、安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持しなければならない。穏健な金融政策を引き続き実施し、フローを最適化し、適度な柔軟性を維持し、金融の改革開放を大いに推進し、金融リスクを確実に防止・解消し、金融のサービス・管理水準を高め、経済・金融のより質の高い、より効率的で、より公平で、より持続可能な発展を促進しなければならない。

3. 2016年の主要任務

(1) 穏健な金融政策を実施し、適切なマネー・金融環境を作り上げる

各種手段の組合せを柔軟に運用し、銀行システムの流動性の合理的な充足を維持する。

マクロプルーデンス政策の枠組みを整備し、マクロプルーデンス評価体系の確立を模索する。

引き続き、担保補充貸出、中期貸借ファシリティー、貸出政策支援再貸出等の金融政策手段を運用して、金融機関が国民経済の重点分野・脆弱部分への貸出を拡大することを支援し、社会資金調達コストの低下を誘導し、経済の構造調整・転換・グレードアップを促進する。

(2) 不断に貸出構造を最適化し、実体経済の発展を支援する

貸出政策と産業政策をより協調的に組み合わせる。

精確に貧困を扶助し、精確に貧困から脱却させるという要求に基づき、貧困扶助開発への金融サービスを全面的にしっかり行う。

(3) 重点分野の改革を深化させ、引き続き改革のボーナス効果を発揮させる

引き続き金利市場化改革を推進する。

市場化した為替レート形成メカニズムを更に整備し、合理的均衡水準での人民元レートの基本的安定を維持する。

金融機関改革を引き続き深化させる。
地域金融改革への支援を引き続き強化する。

- (4) 金融市場の規範的なイノベーションの進展を推進する
- (5) 経済・金融のリスクを防止・解消し、金融の安定を擁護する
- (6) 人民元の国際化レベルを更に引き上げる
- (7) グローバルな経済・金融ガバナンスに深く参加し、引き続き金融業の双方向の開放を推進する
- (8) 外貨管理体制改革を深化させ、外貨準備の経営管理を整備する
- (9) 金融インフラ建設を強化し、金融のサービス・管理水準を高める
- (10) 内部管理を強化し、効率の高い職務履行のために有力な支えを提供する

(1月15日記)